

平成20年度落葉果樹関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成20年度落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成21年1月26日(月)にラ・ベルオーラム(東京)において開催された。

この検討会には、試験場関係者55名、委託関係者20名ほか、計87名の参集を得て、除草剤5薬剤(48点)、生育

調節剤11薬剤(92点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成20年度 落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

(注) アンダーラインは新たに判定された部分

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 続の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判定	判定内容
1. AH-01液 クアルホシネートPナトリウム 塩:11.5% [明治製菓、北興化学]	ブドウ	適用性 自主	愛知農総試園研 (巨峰他) (1)	[多年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 750mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) バス液 750mL<100>	実	実) [ブドウ: 一年生雑草、多年生雑草] ・ 春～夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 一年生雑草対象; 300～500mL/10a <100～150L/10a> 多年生雑草対象; 500～750mL/10a <100～150L/10a> ・ 茎葉処理
	りんご	適用性 継続	新潟農総試園研 (筑波) 兵庫農技 (秋峰、乙宗他) 山口農試(岸根) (3)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 300, 500mL<100> 300mL<150> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) バス液 300mL<100>	実	実) [りんご: 一年生雑草、多年生雑草] ・ 春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 一年生雑草対象; 300～500mL/10a <100～150L/10a> 多年生雑草対象; 500～1000mL/10a <100～150L/10a> ・ 茎葉処理
	りんご	適用性 継続	新潟農総試園研 (筑波) 兵庫農技 (秋峰、乙宗他) 山口農試(筑波) (3)	[多年生雑草、スサナ] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) バス液 500mL<100>		

A. 除草剤

注) アダブライは新たに判定された部分

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
AH-01液	刈	薬害 継続	兵庫農技(銀寄) 山口農試(筑波) (2)	[薬害] ・ 春期→初夏→夏期 (3回処理) 2000mL→2000mL →2000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 夏期(1回処理) 5000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期(1回処理) 100倍 樹幹処理 展着剤不要		
	キウイフル ツ	適用性 自主	千葉大園芸 (ハイワート) (1)	[多年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 750mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ハースタ液 750mL<100>	実	実) [キウイフルーツ: 一年生雑草、多 年生雑草] ・ 春～夏期、雑草生育期 (草丈 30cm 以下) ・ 一年生雑草対象; 300～500mL/10a <100～150L/10a> 多年生雑草対象; 500～750mL/10a <100～150L/10a> ・ 茎葉処理
2. NH-007フロアブル ピラフルフェンエチル; 0.16%、 グリホサートイソプロピルアミン 塩:30% [日本農薬]	ブドウ	適用性 継続	長野中信農試 (ナカノハープル、黄華) 愛知農総試園研 (巨峰他) 香川農試府中 (ビオーネ) (3)	[雑草全般、マルバツユクサ等] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 600, 1000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップハイロード液 1000mL<100>	実	実) [ブドウ: 一年生雑草、多年生雑 草、アマリガサガオ] ・ 春～夏期、 雑草生育期(草丈 30cm 以下) ・ 400～1000mL/10a <100L/10a> ・ 茎葉処理
	ブドウ	薬害 継続	青森り試県南 (キャンパル・アーリー) 長崎果試 (ハニーブラック、巨峰) (2)	[薬害] ・ 春期及び夏期(2回処理) 2000mL→2000L<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期(1回処理) 5000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期(1回処理) 100倍 樹幹処理 展着剤不要		
	ナシ	適用性 継続	千葉大環境健康 (新興) 栃木農試(幸水) 山口農試(豊水) (3)	[雑草全般、マルバツユクサ等] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 600, 1000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップハイロード液 1000mL<100>	実	実) [ナシ: 一年生雑草、多年生雑草、 アマリガサガオ] ・ 春～夏期、 雑草生育期(草丈 30cm 以下) ・ 400～1000mL/10a <100L/10a> ・ 茎葉処理

A. 除草剤

(注) アッガイは新たに判定された部分

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
NH-0077アッガイ	ナシ	薬害 継続	栃木農試(幸水) 長崎果試(幸水) (2)	[薬害] ・ 春期及び夏期(2回処理) 2000mL→2000L<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期(1回処理) 5000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期(1回処理) 100倍 樹幹処理 展着剤不要		
	カキ	適用性 継続	千葉大環境健康 (平核無) 新潟農総研園研 (平核無) 愛知農総試園研 (次郎、富有他) (3)	[雑草全般、マルバツユクサ等] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 600, 1000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウトアップ ハイポート 液 1000mL<100>	実	実) [カキ: 一年生雑草、多年生雑草、 アメリカアザミ] ・ 春～夏期、 雑草生育期(草丈 30cm 以下) ・ 400～1000mL/10a <100L/10a> ・ 茎葉処理
	カキ	薬害 継続	岐阜農技(富有) 奈良果樹振興 (富有) (2)	[薬害] ・ 春期及び夏期(2回処理) 2000mL→2000L<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期(1回処理) 5000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期(1回処理) 100倍 樹幹処理 展着剤不要		
	モモ	適用性 継続	秋田果試 (川中島白桃他) 京都丹後 (あかつき) 福岡農総試豊前 (日川白鳳) (3)	[雑草全般、マルバツユクサ等] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 600, 1000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウトアップ ハイポート 液 1000mL<100>	実	実) [モモ: 一年生雑草、多年生雑草、 アメリカアザミ] ・ 春～夏期、 雑草生育期(草丈 30cm 以下) ・ 400～1000mL/10a <100L/10a> ・ 茎葉処理
	モモ	薬害 継続	秋田果試(美晴白 桃、あきぞら) 広島農技 (千曲白鳳) (2)	[薬害] ・ 春期及び夏期(2回処理) 2000mL→2000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期(1回処理) 5000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期(1回処理) 100倍 樹幹処理 展着剤不要		

A. 除草剤

注) アンドラインは新たに判定された部分

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
3. SCH-003液 クワリホサートイソプロピルアミン 塩 41% [ビーマス・アメリカ]	ブトウ	適用性 継続	千葉大学園芸 (巨峰) 富山農技果試 (安芸クイーン) 愛知農総試園研 (巨峰他) (3)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 250mL<50, 100>, 500mL<50> ・ 茎葉処理 対) クサグリーン 250mL<50>	実	実) [ブトウ: 一年生雑草、多年生 雑草] ・ 一年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 250～500mL<50～100L>/10a 茎葉処理 ・ 多年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 500～1000mL<50～100L>/10a 茎葉処理
	ブトウ	適用性 継続	千葉大学園芸 (巨峰) 富山農技果試 (安芸クイーン) 島根農技 (ビオーネ) (3)	[多年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 500mL<50, 100>, 1000mL<50> ・ 茎葉処理 対) クサグリーン 500mL<50>		
	ブトウ	薬害 継続	愛知農総試園研 (巨峰) 島根農技 (ビオーネ) (2)	[薬害] ・ 春期及び夏期 (2回処理) 2000mL→2000mL<50> 土壌処理 ・ 春期または夏期 (1回処理) 5000mL<50> 土壌処理 ・ 春期または夏期 (1回処理) 50倍<50> 樹幹処理		
4. NC-622液 クワリホサートカリウム塩 48% [日産化学工業]	ナシ	適用性 継続 (H19 翌春)	三重農研 (幸水) 熊本農研果樹 (新高) (2)	[スギナ] ・ スギナ生育期 (草丈20～25cm) ・ 1500mL<25, 50, 100> 2000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ 液 2000mL<50>	実	実) [ナシ: 一年生雑草、多年生雑草] ・ 一年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 200～500mL<25～100L>/10a (25～50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ 多年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 500～1000mL<25～100L>/10a (25～50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ スギナ対象; 春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 1500～2000mL<25～100L>/10a (25～50L は専用ノズル使用) 茎葉処理

A. 除草剤

注) アングライは新たに判定された部分

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
NC-622液	モモ	適用性 継続 (H19 翌春)	鳥取園試 (白秋) 熊本農研果樹 (白鳳等) (2)	[スギナ] ・ スギナ生育期 (草丈20~25cm) ・ 1500mL<25, 100> 2000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウトアップ液 2000mL<50>	実	実) [モモ: 一年生雑草、多年生雑草] ・ 一年生雑草対象; 春~夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 200~500mL<25~100L>/10a (25~50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ 多年生雑草対象; 春~夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 500~1000mL<25~100L>/10a (25~50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ スギナ対象; 春~夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 1500~2000mL<25~100L>/10a (25~50L は専用ノズル使用) 茎葉処理
5. ZK-122液 グリホサートカリウム塩 43% [シンシエンタシヤパン]	ブドウ	適用性 継続 (H19)	石川農総研 (シャルトネ) (春) (1)	[多年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 500, 1000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) タッチダウンIQ液 500mL<50>	実・ 継 (従来どおり)	実) [ブドウ: 一年生雑草、多年生雑草] ・ 一年生雑草対象; 春~夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 250~500mL<25~100L>/10a (25~50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ 多年生雑草対象; 春~夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 500~1000mL<25~100L>/10a (25~50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ スギナ対象; 春~夏期 スギナ生育期 (草丈 20~30cm) 1500~2000mL<25~50L>/10a (専用ノズル使用) 継) ・ スギナに対する水量100Lでの効果 の確認

A. 除草剤

注) アグライは新たに判定された部分

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量 L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
ZK-122液	ナシ	適用性 継続 (H19 翌春)	秋田果試天王 (幸水) 三重農研 (幸水) (2)	[スキナ] ・ スキナ生育期 (草丈25~30cm) ・ 1500mL<25, 50> 2000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ ハイポート液 2000mL<50>	実 ・ 継	実) [ナシ: 一年生雑草、多年生雑 草] ・ 一年生雑草対象; 春~夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 250~500mL<25~100L>/10a (25~50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ 多年生雑草対象; 春~夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 500~1000mL<25~100L>/10a (25~50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ スキナ対象; 春~夏期 スキナ生育期 (草丈 20~30cm) 1500~2000mL<25~50L>/10a (専用ノズル使用) 継) ・ スキナに対する水量100Lでの効果 の確認
	モモ	適用性 継続 (H19)	山梨果試 (白鳳) (夏) (1)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 250, 500mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) タッチダウンIQ液 250mL<50>	実 ・ 継	実) [モモ: 一年生雑草、多年生雑草] ・ 一年生雑草対象; 春~夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 250~500mL<25~100L>/10a (25~50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ 多年生雑草対象; 春~夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 500~1000mL<25~100L>/10a (25~50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ スキナ対象; 春~夏期 スキナ生育期 (草丈 20~30cm) 1500~2000mL<25~50L>/10a (専用ノズル使用) 継) ・ スキナに対する水量100Lでの効果 の確認
	モモ	適用性 継続 (H19 翌春)	岡山農試 (白桃系) 熊本農研果樹 (なつおとめ等) (2)	[スキナ] ・ スキナ生育期 (草丈25~30cm) ・ 1500mL<25, 50> 2000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ ハイポート液 2000mL<50>		

B. 生育調節剤

注) アナライズは新たに判定された部分

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草: ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. CX-10液 シナリト: 10% [日本カーバイド工業]	モモ	適用性 継続	〈山梨果試〉 〈和歌山かきもも研〉 〈岡山農試〉 〈香川農試府中〉 (4)	[休眠打破による発芽促進] ・ 休眠期 (12月末、1月末) ・ 10, 15, 20倍 ・ 散布	実・ 継	実) [注: 休眠打破による発芽促進] ・ 休眠期 ・ 20倍 (十分量) ・ 散布 注) ・ 花芽が枯死する薬害を生じる事がある 継) ・ 処理時期、処理濃度と薬害の関係について
	モモ	適用性 継続 (H19)	山梨果試 (白鳳) 愛知農総試園研 (白鳳) 岡山農試 香川農試府中 (4)	[休眠打破による発芽促進] ・ 休眠期 (11~2月) ・ 10, 15, 20倍 ・ 散布		
2. KT-30S液 ホルクロルフェニユン0.1% [協和発酵工業]	フットウ (オーロラ ブラック)	適用性 新規	岡山農試 (1)	[花穂発育の充実] ・ 展葉6~8枚時 ・ 1, 2ppm ・ 花房散布	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	フットウ (巨峰)	適用性 新規	山梨果試 長野果試 (2)	[花穂発育の充実] ・ 展葉6~8枚時 ・ 1, 2ppm ・ 花房散布	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	フットウ (シャインマ スカット)	適用性 新規	果樹研フットウ・かき 長野果試 島根農技 岡山農試 (4)	[花穂発育の充実] ・ 展葉6~8枚時 ・ 1, 2ppm ・ 花房散布	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	フットウ (シャインマ スカット)	薬害 自主 (H20)	果樹研フットウ・かき 岡山農試 (2)	[倍量薬害] ・ 展葉6~8枚時 ・ 2, 4ppm ・ 花房散布		
	フットウ (瀬戸 シャイン ツ)	適用性 新規	岡山農試 (1)	[花穂発育の充実] ・ 展葉6~8枚時 ・ 1, 2ppm ・ 花房散布	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	フットウ (ヒート ネ)	適用性 新規	山梨果試 (露地、加温) 岡山農試 (H19自主含む) 広島農技 (5)	[花穂発育の充実] ・ 展葉6~8枚時 ・ 1, 2ppm ・ 花房散布	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	フットウ (ヒート ネ)	薬害 自主 (H20)	岡山農試 (1)	[倍量薬害] ・ 展葉6~8枚時 ・ 2, 4ppm ・ 花房散布		
	フットウ (マスカット オブアレキ サントリア)	適用性 新規	岡山農試 (1)	[花穂発育の充実] ・ 展葉6~8枚時 ・ 1, 2ppm ・ 花房散布	継	継) ・ 効果、薬害の確認
ブルーベ リー		適用性 継続	青森試県南 (ノースタント) 秋田果試鹿角 (ノースタント) 山口農試 (シャープブルー) (3)	[果実肥大促進及び日持ち性向上] ・ 落弁期→落弁期7日後 (2回処理) ①5ppm→5ppm ②10ppm→10ppm ③20ppm→20ppm ・ 果そう散布 (枝別処理)	継	継) ・ 効果、薬害の確認

B. 生育調節剤

注) アダプティンは新たに判定された部分

薬剤名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判定	判定内容
3. KUH-833P [®] ー スト + ジ [®] ベ [®] レ [®] シ [®] ベ [®] スト プロヘキサシ [®] オンカルシウム塩 1% + ジ [®] ベ [®] レ [®] シ [®] ベ [®] スト 2.7% [クマヰ化学工業]	日本ナシ	適用性 継続	新潟農総研研 (おさ二十世紀、二 十世紀) 茨城園研 (豊水、あきづき) 長野南信農試 (二十世紀) 熊本農研果樹 (幸水、新高) (4) 果樹研究所 (自主) (豊水) 鳥取大学 (自主) (豊水、おさ [®] コ [®] ー [®] ム [®]) 鳥取園試 (自主) (二十世紀、あきづ き) 佐賀果試 (自主) (幸水、あきづき、新 高) (4)	[果実肥大促進] ・ 満開30~40日後 KPP (本剤) + ジ [®] ベ [®] レ [®] シ [®] ベ [®] スト ; 20-30mg+20-30mg 果梗部塗布 対照区) 満開30~40日後 ジ [®] ベ [®] レ [®] シ [®] ベ [®] スト ; 20-30mg 果梗部塗布 注) 塗布直前に等量のジ [®] ベ [®] レ [®] シ [®] ベ [®] ストとよく混合し使用する	継	継) ・ 効果、薬害の確認
4. RIC-1液および粒 Eclonia Maximaの海藻 ホモシ [®] ネットをセ [®] オライト に25%含浸させた物。 [ロイヤル インダストリーズ]	オトリ	作用性 新規	山形農研農生技 (佐藤錦) (1)	[増糖、着色促進] ・ 3月中にRIC-1粒を500g/1樹→5 ~6月にRIC-1液を3回 ・ 土壌処理	一	(作用性)
5. RIC-S水溶 セ [®] オライト:72%、フ [®] ト [®] ウ 糖:16.4%、窒素全 量:0.8%、水溶性リン 酸:1.2%、水溶性加里 :0.2%、水溶性苦 土:1.3%、水溶性 鉄:0.1% [ロイヤル インダストリーズ]	オトリ	作用性 新規	山形農研農生技 (佐藤錦) (1)	[凍霜害予防] ①圃場試験: ・ 開花6日前(1回、2回) ・ 83倍希釈(十分量) ・ 枝散布 ②室内試験: ・ 開花6日前(1回) ・ 83倍希釈(十分量) ・ 切り枝散布	一	(作用性)
6. ジ [®] ベ [®] レ [®] シ [®] ベ [®] スト水溶 ジ [®] ベ [®] レ [®] シ [®] ベ [®] スト:3.1% [日本ジ [®] ベ [®] レ [®] シ [®] ベ [®] スト研究会]	フ [®] ト [®] ウ (サニール シ [®] ュ)	適用性 継続	島根農技 宮崎総農試 (2) 山梨果試 (H19、20自主) (2)	[着粒密度低減] ・ ①満開20日前→満開10~15日後 25ppm→25ppm 花房浸漬→果 房浸漬 ②満開14日前→満開10~15日 後 25ppm→25ppm 花房浸漬 →果房浸漬 ③満開20日前→満開10~15日 後 25ppm+KT-30S (ホルクロルフェニユ ロ [®] ヌ [®]) 3ppm→25ppm 花房浸漬→果房浸漬 ④満開14日前→満開10~15日 後 25ppm+KT-30S (ホルクロルフェニユ ロ [®] ヌ [®]) 3ppm→25ppm 花房浸漬→果房浸漬 コントロール区) 展葉時→満開3日後 →満開10~15日後 25ppm→25ppm 花房浸漬→果房浸漬	実 ・ 継	実) [フ [®] ト [®] ウ (サニールシ [®] ュ); 着粒密度 低減] ・ 満開14~20日前 →満開10~15日後 ・ 25ppm+KT-30S液 (ホルクロルフェニユ ロ [®] ヌ [®]) 3ppm →25ppm ・ 花房浸漬→果房浸漬 継) ・ 年次変動の確認

B. 生育調節剤

注) アンダーラインは新たに判定された部分

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
ジベレリン水溶 [委託者]	フストウ (サニール ジユ)	薬害 自主 (H20)	島根農技 (1)	[倍量薬害] ①満開14日前→満開10～15日後 50ppm + KT-30S (ホルクロルフェニユロ ン) 6ppm→50ppm 花房浸漬→果 房浸漬 ②満開14日前→満開10～15日後 25ppm + KT-30S (ホルクロルフェニユロ ン) 3ppm→25ppm 花房浸漬→果 房浸漬		
	カキ (甘 秋)	適用性 新規	奈良果樹振興 (1)	[落果防止] ・ 満開10日後 ・ 50, 100, 200ppm ・ 幼果およびへたに散布	実 ・ 継	実) [カキ(富有、 <u>早秋</u> 、 <u>太秋</u>); 落果防 止] ・ 満開10日後 ・ 200ppm (十分量) ・ 幼果およびへたに散布 継) ・ 効果、薬害の確認 (甘秋、新秋) ・ 低薬量 (50, 100ppm) での効果の 確認 (富有、早秋、太秋、甘秋、新 秋)
	カキ (新 秋)	適用性 新規	岐阜農技 奈良果樹振興 (2)	[落果防止] ・ 満開10日後 ・ 50, 100, 200ppm ・ 幼果およびへたに散布		
	カキ (早 秋)	適用性 新規	愛知農総試園研 岐阜農技 奈良果樹振興 福岡農総試 (4)	[落果防止] ・ 満開10日後 ・ 50, 100, 200ppm ・ 幼果およびへたに散布		
	カキ (早 秋)	適用性 自主 (H15、 16、18、 19)	奈良果樹振興 (4)	[落果防止] ・ 満開10日後 ・ 200ppm ・ 幼果およびへたに散布		
	カキ (太 秋)	適用性 新規	岐阜農技 宮崎総農試 (2)	[落果防止] ・ 満開10日後 ・ 50, 100, 200ppm ・ 幼果およびへたに散布		
	カキ (太 秋)	適用性 自主 (H17、 18)	奈良果樹振興 (2)	[落果防止] ・ 満開10日後 ・ 200ppm ・ 幼果およびへたに散布		
	カキ (富 有)	適用性 新規	徳島果樹県北 香川農試府中 (2)	[落果防止] ・ 満開10日後 ・ 50, 100, 200ppm ・ 幼果およびへたに散布		
7. ジベレリンペースト ジベレリン: 2. 7% [協和発酵工業]	日本ナシ	適用性 継続	石川農総研 (幸水) (自主含む) 栃木農試 (あきづき、幸水) (自主含む) 埼玉農総園研 (幸水、豊水、彩玉) 長野南信農試 (南水) 鳥取園試 (あきづき、豊水) 岡山北部 (新高) 福岡農総試 (幸水、豊水、あきづ き) 佐賀果試 (幸水) (8)	[新梢伸長促進] ・ 満開7～14日後 ・ 100mg/枝 ・ 新梢基部塗布 (①主枝、亜主枝などの先端、 ②長果枝、③接ぎ木、④陰芽な ど)	実 ・ 継	実) [日本ナシ: 新梢伸長促進] ・ 満開7～14日後 ・ 100mg/枝 ・ 全花除去した短果枝の基部また は、その他新梢の基部に塗布 継) ・ 短果枝以外の処理での効果につ いて年次変動の確認

B. 生育調節剤

注) アグライは新たに判定された部分

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
8. AF-2Lくん蒸成型 1-メチルシクロプロペン 6.7 μg/cm ² [アグロフレッシュ インク]	キウイフルーツ	適用性 新規 (H19)	香川農試府中 (さぬきコート) 愛媛果試(ハイワート) (2)	[貯蔵性向上] ・ 収穫当日 (24時間以内) 密閉容器内処理 (室温) → 冷蔵保存 625ppb (0.5枚/20kgコンテナ) ・ 製剤から発生する気体に密閉 条件で12時間以上暴露 処理方法) ・ 果実15~20kgをキウイフルーツ用ポリエ チレン袋、20kgコンテナに入れる→所 定量の製剤を置く→袋上部を 折りたたんだ後直ちに密閉し 12時間以上静置 (暴露処理) → 冷蔵庫に搬入	継	継) 効果、薬害の確認
9. J-455乳 エチクロゼート:20% [日産化学工業]	柿 (前川 次郎)	適用性 自主 (H12、 18、19、 20)	静岡果樹研落葉 三重農研 (4)	[着色促進] ・ 満開70~80日後 (生理落果終了 後) およびその15~20日後 ・ 5000倍<300~500L/10a> ・ 立木全面散布	実	実) 柿 (富有、西村早生、西条、前 川次郎); 着色促進 ・ 満開70~80日後 (生理落果終了 後) およびその15~20日後 2回 ・ 5000倍<300~500L/10a> ・ 立木全面散布
10. ジベレリン水溶 ジベレリン:3.1% [日本ジベレリン研究 会]	ブドウ (巨峰)	適用性 自主 (H20)	長野果試 (2)	[果粒肥大] ・ 満開15~20日後 ・ 25ppm ・ 果房浸漬処理	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	ブドウ (ふく しずく)	適用性 自主 (H18、 19、20)	福島果試 (3)	[果粒肥大] ・ 満開期、満開後3, 5, 7, 10日 1回 ・ 50, 100ppm ・ 果房散布または浸漬	実・ 継	実) [ブドウ(ふくしずく); 果粒肥 大促進] ・ 満開時~7日後 1回 ・ 50ppm ・ 花房または果房浸漬
	ブドウ (福島2 号)	適用性 自主 (H19、 20)	福島果試 (5)	[果粒肥大] ・ 満開期、満開後5, 10日 1回 ・ 50, 100ppm ・ 果房散布または浸漬	継	継) ・ 100ppm処理での効果の確認
11. ジベレリン水溶 + KT-30S液 ジベレリン:3.1% + ホルクロ ルフェニエロン:0.1% [協和発酵バイオ]	ブドウ (ふく しずく)	適用性 自主 (H15、 16、17)	福島果試 (3)	[果粒肥大] ・ 満開期~満開後15日 1回 ・ 50ppm、25ppm + KT-30S (ホルクロル フェニエロン) 10ppm ・ 果房散布または浸漬	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	ブドウ (福島2 号)	適用性 自主 (H15、 16、17)	福島果試 (5)	[果粒肥大] ・ 満開期日~満開後15日 1回 ・ 50ppm、25ppm + KT-30S (ホルクロル フェニエロン) 10ppm ・ 果房散布または浸漬		